

重要文化財「石井閘門」の補修に向けて  
～各種調査結果を踏まえ、補修計画（案）を提示～

石巻市に位置する重要文化財「石井閘門」は、完成後132年（明治13年完成）が経過しており、長い年月による施設の老朽化に加え、東北地方太平洋沖地震及び津波により被災したことから、昨年8月に学識者による委員会を設立し、施設補修のための本格的な調査を行ってきました。

今回、一連の調査が終了したことから、調査結果の報告及び補修方針（案）について助言いただき、第2回委員会の開催をお知らせします。

石井閘門

- ・明治13年（1880年）に完成し、東北地方開発の拠点として建設を進めた野蒜築港事業の代表的な遺構であり、西洋から取り入れた近代土木技術によるはじめて整備された現在国内で稼働しているものとしては最古の閘門\*
  - ・平成14年5月（2002年）に、国の重要文化財に指定
- ※閘門とは、水位の異なる河川や運河などの間で水位を調節し、航行する船を上下させるための施設

○過去の補修事例

- ・平成22年に中島閘門（富山市）の門扉交換、塗装等の補修実績がある

■第2回委員会開催

平成25年3月17日（日） 13時30分～

※概ね2時間程度を予定しています

■委員会開催場所

石巻グランドホテル 2F 鳳凰の間（石巻市千石町2-10）

■その他

委員会次第（案）及び委員名簿は別紙参照願います。

※気象状況等によっては、委員会を延期することがあります

※発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

国土交通省北上川下流河川事務所

石巻市蛇田字新下沼80

電話0225-95-0194（代表）

技術副所長

佐藤

伸吾

（内線205）

管理課長

畑山

作栄

（内線331）

《参考：今までの委員会等の経過》

■第1回委員会開催

平成24年8月8日（水）

現地視察：13時30分～

委員会：14時30分～

■現地視察及び委員会開催場所

○現地視察

石井閘門（石巻市水押3-6）

○委員会会場

石巻グランドホテル 2F 鳳凰の間（石巻市千石町2-10）

■委員による現地調査

平成24年12月18日、20日、22日

■水替状況の一般公開

平成24年12月18日～22日まで

■素掘調査（石工職人による現地調査）

平成25年2月6日

※なお、上記関連については、平成24年8月3日、12月3日、平成25年1月7日、2月4日に記者発表済みです。

# 第 2 回

## 重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会

### 議事次第（案）

日 時 : 平成 25 年 3 月 17 日 (日) 13:30～15:30  
委員会開催場所 : 石巻グランドホテル 鳳凰の間(2F)  
(石巻市千石町 2-10)

1. 開会
2. 主催者あいさつ
3. 委員長 あいさつ
4. 第 2 回委員会 議事
  - (1) 石井閘門の健全度について
  - (2) 石井閘門の補修方針について
  - (3) 今後の予定
  - (4) 市民公開の結果について
5. 閉会

## 第 2 回

# 重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会

## 出席者名簿

### 〔委員〕

あべ たかひろ 阿部 貴弘	日本大学理工学部社会交通工学科 准教授
かざま そう 風間 聡	東北大学大学院工学研究科 教授
きむら つとむ 木村 勉	長岡造形大学建築・環境デザイン学科 教授
ごとう こうき 後藤 光亀	東北大学大学院工学研究科 准教授
ちの やすあき 知野 泰明	日本大学工学部土木工学科 准教授
はせがわ なおじ 長谷川 直司	独立行政法人建築研究所 建築生産研究グループ長 ・材料研究グループ長
へんみ せいじ 邊見 清二	石巻千石船の会 会長

(敬称略 五十音順)

### 〔オブザーバー〕

かわい ただし 河井 正	東北大学大学院工学研究科 准教授
せきぐち しげき 関口 重樹	文化庁文化財部参事官(建造物担当)付修理指導部門 文化財調査官
さくま こうへい 佐久間 光平	宮城県教育庁文化財保護課保存活用班 班長
ささき あつし 佐々木 淳	石巻市教育委員会生涯学習課 課長補佐
ことうの ひろし 古藤野 弘	宮城県東部土木事務所 副所長
さとう かつひで 佐藤 克英	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所 所長

# 位置図



震災前の石井閘門 H17年4月頃



震災直後の石井閘門 H23年3月14日